

## 将来の必要病床数の算定について

## 1 将来の必要病床数の算定のポイント

- ① 構想区域内の住民の性・年齢別の人口と、実際の受療動向（レセプトデータ等）を踏まえて、法令で定められた算定式により、**機械的に将来の必要数を算定**する。

## 【算定の基本的な考え方】

## ア 患者需要量の推計

構想区域の 2025 年の医療需要＝

[当該構想区域の 2013 年度の性・年齢階級別の入院受療率×  
当該構想区域の 2025 年の性・年齢階級別推計人口] を総和したもの

## イ 必要病床数の推計

アを病床稼働率で割り、必要病床数を求める。

（高度急性期 75%、急性期 78%、回復期 90%、慢性期 92%。）

※ 実際は国が配布する算定ツールにより算定を行う。

- ② この際、**慢性期**の需要については地域差の解消分についてAパターンとBパターンの範囲で調整する必要がある。（→ 2慢性期需要の算定についてを参照）
- ③ ①及び②で算定した数に、県内の**構想区域ごとの入院患者の流入・流出数の見込みを加味**して、構想区域ごとの必要病床数を確定する。（例：二戸から盛岡への流入など）
- ④ ③に**都道府県間の流入流出**（例：岩手から宮城、青森から岩手など）についても加味し、**全構想区域分の必要病床数を合計**して**県全体**における**将来の必要病床数を確定**する。

※ ②で機械的に算定した構想区域ごとの必要病床数の合計に③県内の構想区域間の流入流出と④の都道府県を越えた構想区域への流入流出を加味したものが構想区域における必要病床数となる。

図7 各構想区域における病床の機能区分ごとの医療需要に対する医療供給（医療提供体制）の状況（脳卒中、心筋梗塞等の主な疾病についても同様の表を作成）

推計年度

平成37年(2025年)

	2025年における	2025年における医療供給(医療提供体制)		
	医療需要 (当該構想区域に居住する患者の医療需要)(①)	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの(②)※	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの(③)	病床の必要量(必要病床数)(③を基に病床利用率等により算出される病床数)(④)
高度急性期 急性期 回復期 慢性期				

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期それぞれにおける②に関して、厚生労働省がデータ提供の技術的支援

## 2 高度急性期・急性期・回復期の需要算定について

別表1のとおり。

## 3 慢性期需要の算定について

### (1) 慢性期需要の算定方法

慢性期の需要については、以下のとおり長期で療養を要する患者のうち一定割合を在宅に移行する前提で算定することとなっている。

慢性期の入院患者＝①－②－③－④＋⑤

- ① 療養病床入院患者等
- ② 回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する患者等 → 回復期へ
- ③ ①のうち医療区分1に属する患者の70% → 在宅等へ
- ④ 各県の入院受療率に応じた地域差の解消分 → 在宅等へ
- ⑤ 障がいその他の疾患による入院患者

このうち④については、構想区域ごとに以下のAからBの範囲内で目標を定めることとされている(ガイドライン p17)

**パターンA** 全ての構想区域の入院受療率を全国最小値まで低下させる。

**パターンB** 構想区域の入院受療率を、全国中央値を用いて全国最小値に一定割合近づける。

### (2) 本県における地域差解消の調整案

全ての構想区域でパターンBを用いることとする。

### (3) 理由

ガイドラインにおいては、「限られた医療資源の中で住民が安心して地域医療を受けるためには、在宅医療等の整備が先行した上で、慢性期機能の必要病床数に係る目標に向けた取組が不可欠である」としているところ。

いわていきいきプラン 2017によれば、本県では訪問診療を受けた患者数、往診を受けた患者数、在宅療養支援病院数、在宅療養支援診療所のいずれも全国平均を下回るなど、本県の在宅医療の提供体制を考慮すると、より緩やかに在宅移行を行うパターンBが妥当と考えられる。

## 4 在宅医療等の需要の算定について

### (1) 在宅医療等の需要の算定方法

以下の①～⑤の合計が2025年における在宅医療等の需要の推計値となる。

- ① 療養病床入院患者等のうち医療区分1である患者の数の70%
- ② 療養病床入院患者等のうち各県の入院受療率に応じた地域差の解消分

- ③ 医療資源投入量 225 点未満の入院患者から回復期として算定する患者（175 点以上の患者、回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する患者等）を除いた数
- ④ 訪問診療を受ける患者数
- ⑤ 介護老人保健施設入所者数

## 5 高度急性期・急性期・回復期・慢性期の必要病床数について

別表 2 のとおり。

## 6 将来の病床数算定における流入流出の見込みについて

### (1) 現状

- ・ 盛岡圏域以外の全圏域から盛岡圏域への患者流出が見られる。

	医療機関所在地										合計	
	0301:盛岡	0302:岩手 中部	0303:胆江	0304:両磐	0305:気仙	0306:釜石	0307:宮古	0308:久慈	0309:二戸	県外		
患者 住所 地	0301:盛岡	7,054.7	55.8	*	18.9	*	12.0	*	*	12.1	30.4	7,183.9
	0302:岩手中部	361.6	2,891.0	42.0	11.8	*	31.3	*	*	*	32.7	3,370.4
	0303:胆江	84.2	65.8	1,965.6	35.9	*	*	*	*	*	25.3	2,176.7
	0304:両磐	62.9	12.6	125.0	1,687.0	*	*	*	*	*	114.9	2,002.3
	0305:気仙	85.9	26.7	16.8	15.5	802.0	47.5	*	*	0.0	13.6	1,007.9
	0306:釜石	88.6	13.4	*	*	*	1,042.6	16.0	0.0	*	0.0	1,160.5
	0307:宮古	204.7	*	*	*	*	37.4	1,067.0	11.3	*	10.4	1,330.8
	0308:久慈	30.6	*	*	*	0.0	*	*	681.4	*	74.1	786.2
	0309:二戸	226.2	*	*	*	0.0	*	*	*	672.3	60.9	959.4
	県外	137.1	0.0	20.5	48.2	21.7	0.0	0.0	0.0	16.9	x	244.4
	合計	8,336.6	3,065.3	2,169.9	1,817.2	823.7	1,170.6	1,083.0	692.7	701.3	362.2	20,222.5

流出 117.8

住所地における充足率 →

	医療機関所在地										一県内での 受療率 合計	県外
	0301:盛岡	0302:岩手 中部	0303:胆江	0304:両磐	0305:気仙	0306:釜石	0307:宮古	0308:久慈	0309:二戸			
患者 住所 地	0301:盛岡	98.2%	0.8%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	99.6%	0.4%
	0302:岩手中部	10.7%	85.8%	1.2%	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	99.0%	1.0%
	0303:胆江	3.9%	3.0%	90.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.8%	1.2%
	0304:両磐	3.1%	0.6%	6.2%	84.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.3%	5.7%
	0305:気仙	8.5%	2.6%	1.7%	1.5%	79.6%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%
	0306:釜石	7.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	89.8%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	0307:宮古	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	80.2%	0.8%	0.0%	99.2%	0.8%
	0308:久慈	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%	0.0%	90.6%	9.4%
	0309:二戸	23.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.1%	93.7%	6.3%

※ 厚生労働省の必要病床数推計ツールにより作成（2013 年の医療需要に基づく。）

- ・ 構想区域内での医療需要の完結を目指す場合、機械的な計算のもとでは、盛岡への流出分を患者住所地の圏域に戻すかたちで推計が行われることとなり、盛岡の約 1 千床を其他圏域に再配置する算定結果となっている。

### (2) 論点

「2025 年において流入流出をどう見込むか」を考える際、本県においては、①人口減少と人口構造の変化に伴う医療需要の変化への対応とともに、アの現状を踏まえ、② 全圏域から盛岡圏域への流入が多いという本県の特徴を将来的にどのようにするか、を検討する必要がある。

### (3) 検討の方向性

#### ア 人口減少と人口構造の変化に伴う医療需要の変化への対応

国から提供されたデータ等に基づいて主な疾病や病床機能ごとに分析を行ったうえで流入流出

を議論する必要がある。

## イ 盛岡圏域への医療機能の集中について

- ① 地域医療構想においては、急性期、回復期及び慢性期について構想区域内で完結するのが原則だが、本県においては盛岡に医療機能が集中している現状を踏まえ、「あるべき医療提供体制」において圏域ごとの流入流出をどのように考えるかが構想策定における最大の課題と考えられる。
- ② 医師・看護師などの人材や医療施設の再配置の可能性（実現性）も考慮しながら議論する必要がある。

## ウ 病床の機能区分ごとの検討のポイント

### ① 高度急性期

- ・ 現状と同水準の盛岡圏域への流入を見込むものとしてよいか。

### ② 急性期

- ・ 盛岡圏域に流出した高度急性期患者が急性期に移行した際、どこで治療するのか（盛岡圏域で治療するのか、住所地の圏域に戻すのか）。※ガイドラインでは流入容認もあり、とされている。
- ・ 高齢化に伴って医療需要が増大すると予測されている疾病について、どこまで圏域内での完結を目指すのか（例えば、老人性肺炎や大腿骨骨折などの日常性の高い疾病は、圏域内完結を目指し、その他の疾病は現状と同水準の流出を見込む、など）

### ③ 回復期

- ・ 流出した高度急性期患者、急性期患者の回復期をどこで治療するか（流出先で引き続き治療するか、住所地の圏域に戻すのか）。
- ・ 回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟への転換がどの程度見込めるか。

### ④ 慢性期

- ・ 療養病床についても盛岡への流入が見られる現状を踏まえ、どこまで圏域内での完結を目指すのか。
- ・ 完結率を高めるとした場合、どのような要素に着目して検討すべきか。

## 必要病床数推計ツールによる医療需要の機械的推計（2025年・パターンA＝慢性期の下限）

2013年に何人の患者がいたか。ア  
 アに基づく2025年の見込みイ  
 イを地域完結させた場合ウ

医療機関所在地	医療機能	2013年の医療需要（医療機関ベース）	2025年の医療需要（医療機関ベース）	2025年の医療需要（患者住所地ベース）	人/日		
					イ-ア 2013→2025 医療需要（医療機関ベース）の比較増減	ウ-ア 2013→2025 医療需要（患者住所地ベース）の比較増減	ウ-イ 2025医療需要（医療機関ベース）と患者住所地ベースの差
0301:盛岡	高度急性期	406.2	410.2	301.1	4.0	-105.2	-109.2
	急性期	1,140.0	1,215.3	986.8	75.4	-153.1	-228.5
	回復期	1,488.2	1,687.6	1,340.5	199.3	-147.8	-347.1
	慢性期	1,191.8	1,040.6	884.1	-151.2	-307.7	-156.5
	小計	4,226.2	4,353.7	3,512.4	127.5	-713.8	-841.3
	在宅医療等	(4,187.9)	(6,786.6)	(6,582.4)	(2,598.7)	(2,394.5)	-(204.2)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(1,682.6)	(2,638.6)	(2,568.9)	(955.9)	(886.3)	-(69.6)
0302:岩手中部	高度急性期	102.2	101.1	128.7	-1.1	26.5	27.6
	急性期	340.2	343.3	400.6	3.1	60.4	57.3
	回復期	469.1	501.5	588.1	32.4	119.0	86.6
	慢性期	231.0	226.8	312.4	-4.2	81.3	85.5
	小計	1,142.5	1,172.8	1,429.7	30.3	287.2	256.9
	在宅医療等	(1,978.4)	(2,277.8)	(2,303.5)	(299.4)	(325.1)	(25.7)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(705.7)	(823.2)	(832.6)	(117.5)	(126.9)	(9.4)
0303:胆江	高度急性期	62.6	63.1	76.4	0.4	13.8	13.3
	急性期	272.6	274.6	292.6	2.0	20.0	18.0
	回復期	268.2	280.9	305.7	12.7	37.5	24.8
	慢性期	488.8	381.1	286.3	-107.7	-202.6	-94.8
	在宅医療等	1,110.5	1,347.7	1,354.5	237.3	244.1	6.8
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	264.1	299.8	305.4	35.6	41.3	5.7
	小計	1,092.3	999.7	960.9	-92.6	-131.3	-38.8
0304:両磐	高度急性期	59.9	57.3	77.4	-2.6	17.5	20.0
	急性期	223.5	217.2	259.0	-6.3	35.4	41.7
	回復期	259.3	262.4	297.7	3.0	38.3	35.3
	慢性期	246.2	217.7	237.0	-28.5	-9.2	19.2
	小計	789.0	754.7	871.0	-34.3	82.0	116.3
	在宅医療等	(1,060.2)	(1,088.6)	(1,138.7)	(28.4)	(78.5)	(50.1)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(197.5)	(205.7)	(240.0)	(8.2)	(42.5)	(34.3)
0305:気仙	高度急性期	34.2	33.2	42.3	-1.1	8.0	9.1
	急性期	123.3	125.2	150.4	1.9	27.1	25.2
	回復期	69.5	73.3	123.3	3.8	53.8	50.0
	慢性期	57.1	63.4	116.6	6.4	59.6	53.2
	小計	284.1	295.1	432.6	11.0	148.5	137.5
	在宅医療等	(561.5)	(612.3)	(649.8)	(50.8)	(88.3)	(37.5)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(147.1)	(163.4)	(189.5)	(16.4)	(42.5)	(26.1)
0306:釜石	高度急性期	24.9	23.6	33.2	-1.3	8.3	9.6
	急性期	102.3	101.7	116.7	-0.6	14.4	15.0
	回復期	142.2	149.7	179.1	7.5	36.9	29.4
	慢性期	217.9	205.2	138.2	-12.7	-79.7	-67.0
	小計	487.2	480.2	467.2	-7.1	-20.1	-13.0
	在宅医療等	(702.9)	(693.1)	(716.7)	-(9.8)	(13.8)	(23.6)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(354.9)	(358.8)	(380.9)	(3.9)	(26.0)	(22.1)
0307:宮古	高度急性期	30.7	29.3	51.8	-1.4	21.0	22.4
	急性期	108.3	107.3	158.6	-1.0	50.3	51.3
	回復期	163.5	170.7	225.1	7.2	61.6	54.4
	慢性期	75.8	86.2	142.8	10.4	67.0	56.6
	小計	378.3	393.5	578.3	15.2	200.0	184.8
	在宅医療等	(714.2)	(749.2)	(797.6)	(35.0)	(83.4)	(48.4)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(206.7)	(222.3)	(247.8)	(15.6)	(41.1)	(25.5)
0308:久慈	高度急性期	32.9	32.4	39.8	-0.5	6.9	7.4
	急性期	107.6	110.4	129.1	2.7	21.5	18.7
	回復期	111.5	118.9	142.0	7.4	30.4	23.0
	慢性期	37.7	38.3	60.6	0.6	22.9	22.3
	小計	289.8	300.0	371.5	10.2	81.7	71.4
	在宅医療等	(426.2)	(488.3)	(499.2)	(62.1)	(73.0)	(10.9)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(78.9)	(83.5)	(86.3)	(4.7)	(7.5)	(2.8)
0309:二戸	高度急性期	24.7	23.4	31.1	-1.4	6.3	7.7
	急性期	108.2	104.2	121.6	-4.1	13.4	17.4
	回復期	82.2	81.0	136.6	-1.2	54.4	55.6
	慢性期	37.1	30.3	92.9	-6.8	55.8	62.6
	小計	252.3	238.9	382.2	-13.4	129.9	143.3
	在宅医療等	(462.0)	(464.5)	(559.9)	(2.5)	(97.9)	(95.4)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(63.6)	(62.3)	(96.6)	-(1.3)	(33.0)	(34.3)
総計	8,941.8	8,988.7	9,005.8	46.9	64.0	17.1	
岩手県全域	高度急性期	778.5	773.6	781.6	-4.8	3.1	7.9
	急性期	2,526.0	2,599.2	2,615.3	73.1	89.3	16.1
	回復期	3,053.8	3,326.1	3,338.0	272.2	284.2	12.0
	慢性期	2,583.4	2,289.8	2,270.8	-293.6	-312.6	-19.0
	県計	8,941.8	8,988.7	9,005.8	46.9	64.0	17.1
	在宅医療等	(11,203.8)	(14,508.3)	(14,602.4)	(3,304.5)	(3,398.6)	(94.1)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(3,701.2)	(4,857.7)	(4,948.2)	(1,156.5)	(1,247.0)	(90.5)

※ 2013年の慢性期の医療需要は、在宅への移行分は控除し、地域差解消分は控除していない数値である。

## 必要病床数推計ツールによる医療需要の機械的推計（2025年・パターンB＝慢性期の上限）

2013年に何人の患者がいたか。ア  
アに基づく2025年の見込みイ  
イを地域完結させた場合ウ

医療機関所在地	医療機能	2013年の医療需要（医療機関ベース）	2025年の医療需要（医療機関ベース）	2025年の医療需要（患者住所地ベース）	人/日		
					イ-ア 2013→2025 医療需要（医療機関ベース）の比較増減	ウ-ア 2013→2025 医療需要（患者住所地ベース）の比較増減	ウ-イ 2025医療需要（医療機関ベース）と患者住所地ベースの差
0301:盛岡	高度急性期	406.2	410.2	301.1	4.0	-105.2	-109.2
	急性期	1,140.0	1,215.3	986.8	75.4	-153.1	-228.5
	回復期	1,488.2	1,687.6	1,340.5	199.3	-147.8	-347.1
	慢性期	1,191.8	1,125.8	967.8	-66.0	-224.0	-158.0
	小計	4,226.2	4,438.9	3,596.1	212.7	-630.1	-842.8
	在宅医療等	(4,187.9)	(5,826.7)	(5,591.4)	(1,638.8)	(1,403.5)	-(235.3)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(1,682.6)	(2,237.6)	(2,160.2)	(554.9)	(477.6)	-(77.3)
0302:岩手中部	高度急性期	102.2	101.1	128.7	-1.1	26.5	27.6
	急性期	340.2	343.3	400.6	3.1	60.4	57.3
	回復期	469.1	501.5	588.1	32.4	119.0	86.6
	慢性期	231.0	228.4	312.4	-2.6	81.3	83.9
	小計	1,142.5	1,174.3	1,429.7	31.9	287.2	255.4
	在宅医療等	(1,978.4)	(2,231.9)	(2,259.9)	(253.5)	(281.4)	(28.0)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(705.7)	(799.5)	(807.5)	(93.8)	(101.8)	(8.0)
0303:胆江	高度急性期	62.6	63.1	76.4	0.4	13.8	13.3
	急性期	272.6	274.6	292.6	2.0	20.0	18.0
	回復期	268.2	280.9	305.7	12.7	37.5	24.8
	慢性期	488.8	409.7	315.1	-79.2	-173.8	-94.6
	小計	1,092.3	1,193.6	1,159.1	101.3	66.8	-34.5
	在宅医療等	(1,110.5)	(1,318.6)	(1,327.0)	(208.1)	(216.5)	(8.4)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(264.1)	(.0)	(.0)	-(264.1)	-(264.1)	(.0)
0304:両磐	高度急性期	59.9	57.3	77.4	-2.6	17.5	20.0
	急性期	223.5	217.2	259.0	-6.3	35.4	41.7
	回復期	259.3	262.4	297.7	3.0	38.3	35.3
	慢性期	246.2	218.0	237.0	-28.2	-9.2	19.0
	小計	789.0	754.9	871.0	-34.1	82.0	116.0
	在宅医療等	(1,060.2)	(1,085.2)	(1,137.8)	(25.1)	(77.6)	(52.6)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(197.5)	(202.2)	(236.6)	(4.7)	(39.1)	(34.4)
0305:気仙	高度急性期	34.2	33.2	42.3	-1.1	8.0	9.1
	急性期	123.3	125.2	150.4	1.9	27.1	25.2
	回復期	69.5	73.3	123.3	3.8	53.8	50.0
	慢性期	57.1	63.5	116.7	6.4	59.7	53.2
	小計	284.1	295.2	432.7	11.1	148.6	137.5
	在宅医療等	(561.5)	(651.5)	(693.0)	(90.0)	(131.5)	(41.5)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(147.1)	(172.0)	(199.7)	(24.9)	(52.6)	(27.7)
0306:釜石	高度急性期	24.9	23.6	33.2	-1.3	8.3	9.6
	急性期	102.3	101.7	116.7	-0.6	14.4	15.0
	回復期	142.2	149.7	179.1	7.5	36.9	29.4
	慢性期	217.9	205.2	138.2	-12.7	-79.7	-67.1
	小計	487.2	480.2	467.2	-7.0	-20.1	-13.0
	在宅医療等	(702.9)	(791.6)	(820.1)	(88.7)	(117.2)	(28.5)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(354.9)	(405.8)	(430.5)	(50.8)	(75.5)	(24.7)
0307:宮古	高度急性期	30.7	29.3	51.8	-1.4	21.0	22.4
	急性期	108.3	107.3	158.6	-1.0	50.3	51.3
	回復期	163.5	170.7	225.1	7.2	61.6	54.4
	慢性期	75.8	86.2	142.8	10.4	67.0	56.6
	小計	378.3	393.5	578.3	15.2	200.0	184.8
	在宅医療等	(714.2)	(816.6)	(873.5)	(102.4)	(159.2)	(56.8)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(206.7)	(238.3)	(266.7)	(31.6)	(60.0)	(28.3)
0308:久慈	高度急性期	32.9	32.4	39.8	-0.5	6.9	7.4
	急性期	107.6	110.4	129.1	2.7	21.5	18.7
	回復期	111.5	118.9	142.0	7.4	30.4	23.0
	慢性期	37.7	38.4	60.6	0.8	22.9	22.2
	小計	289.8	300.2	371.5	10.4	81.7	71.3
	在宅医療等	(426.2)	(472.1)	(484.1)	(46.0)	(58.0)	(12.0)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(78.9)	(83.4)	(85.3)	(4.5)	(6.5)	(1.9)
0309:二戸	高度急性期	24.7	23.4	31.1	-1.4	6.3	7.7
	急性期	108.2	104.2	121.6	-4.1	13.4	17.4
	回復期	82.2	81.0	136.6	-1.2	54.4	55.6
	慢性期	37.1	31.8	97.3	-5.3	60.2	65.6
	小計	252.3	240.4	386.7	-12.0	134.3	146.3
	在宅医療等	(462.0)	(486.4)	(593.6)	(24.4)	(131.6)	(107.2)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(63.6)	(65.9)	(103.2)	(2.3)	(39.6)	(37.3)
総計		8,941.8	9,105.9	9,122.8	164.1	181.0	16.9
岩手県全域	高度急性期	778.5	773.6	781.6	-4.8	3.1	7.9
	急性期	2,526.0	2,599.2	2,615.3	73.1	89.3	16.1
	回復期	3,053.8	3,326.1	3,338.0	272.2	284.2	12.0
	慢性期	2,583.4	2,407.0	2,387.8	-176.4	-195.5	-19.1
	県計	8,941.8	9,105.9	9,122.8	164.1	181.0	16.9
	在宅医療等	(11,203.8)	(13,680.7)	(13,780.3)	(2,477.0)	(2,576.6)	(99.6)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(3,701.2)	(4,204.7)	(4,289.7)	(503.5)	(588.5)	(85.0)

※ 2013年の慢性期の医療需要は、在宅への移行分は控除し、地域差解消分は控除していない数値である。

必要病床数推計ツールによる**必要病床数**の機械的推計（2025年・パターンA＝慢性期の下限）

2013年に何人の患者がいたか。ア  
2013の患者数を病床数に換算イ  
Bに入口の変化を折り込んで推計ウ  
Cを患者住所地に再配分エ

医療機関所在地	医療機能	2013年の医療需要 (医療機関ベース) 人/日	2013年の必要病床数 (医療機関ベース)	2025年の必要病床数 (医療機関ベース)	2025年の必要病床数 (患者住所地ベース)	ウ-イ	エ-イ	エ-ウ
						2013→2025 必要病床数(医療機関ベース) の比較増減	2013→2025 必要病床数(患者住所地ベース) の比較増減	2025必要病床 数 (医療機関ベースと患者住所地 ベースの差)
0301:盛岡	高度急性期	406.2	541.7	547.0	401.4	5.3	-140.2	-145.6
	急性期	1,140.0	1,461.5	1,558.1	1,265.2	96.6	-196.3	-293.0
	回復期	1,488.2	1,653.6	1,875.1	1,489.4	221.5	-164.2	-385.7
	慢性期	1,191.8	1,295.4	1,131.1	961.0	-164.3	-334.5	-170.2
	小計	4,226.2	4,952.1	5,111.3	4,116.9	159.1	-835.2	-994.4
	在宅医療等	(4,187.9)	(4,187.9)	(6,786.6)	(6,582.4)	(2,598.7)	(2,394.5)	-(204.2)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(1,682.6)	(1,682.6)	(2,638.6)	(2,568.9)	(955.9)	(886.3)	-(69.6)
0302:岩手中部	高度急性期	102.2	136.3	134.8	171.6	-1.4	35.3	36.7
	急性期	340.2	436.2	440.1	513.5	4.0	77.4	73.4
	回復期	469.1	521.2	557.3	653.5	36.0	132.2	96.2
	慢性期	231.0	251.1	246.6	339.5	-4.5	88.4	93.0
	小計	1,142.5	1,344.7	1,378.7	1,678.1	34.0	333.4	299.3
	在宅医療等	(1,978.4)	(1,978.4)	(2,277.8)	(2,303.5)	(299.4)	(325.1)	(25.7)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(705.7)	(705.7)	(823.2)	(832.6)	(117.5)	(126.9)	(9.4)
0303:胆江	高度急性期	62.6	83.5	84.1	101.9	0.6	18.4	17.8
	急性期	272.6	349.4	352.0	375.1	2.6	25.6	23.0
	回復期	268.2	298.0	312.1	339.7	14.1	41.6	27.5
	慢性期	488.8	531.3	414.2	311.2	-117.1	-220.2	-103.1
	小計	1,092.3	1,262.3	1,162.5	1,127.8	-99.8	-134.6	-34.8
	在宅医療等	(1,110.5)	(1,110.5)	(1,347.7)	(1,354.5)	(1,347.7)	(1,354.5)	(6.8)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(264.1)	(264.1)	(299.8)	(305.4)	(299.8)	(305.4)	(5.7)
0304:両磐	高度急性期	59.9	79.9	76.4	103.1	-3.4	23.3	26.7
	急性期	223.5	286.6	278.5	332.0	-8.1	45.4	53.5
	回復期	259.3	288.2	291.5	330.7	3.4	42.6	39.2
	慢性期	246.2	267.6	236.7	257.6	-30.9	-10.0	20.9
	小計	789.0	922.2	883.1	1,023.5	-39.1	101.3	140.3
	在宅医療等	(1,060.2)	(1,060.2)	(1,088.6)	(1,138.7)	(1,088.6)	(1,138.7)	(50.1)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(197.5)	(197.5)	(205.7)	(240.0)	(205.7)	(240.0)	(34.3)
0305:気仙	高度急性期	34.2	45.7	44.2	56.4	-1.4	10.7	12.1
	急性期	123.3	158.1	160.5	192.8	2.4	34.7	32.3
	回復期	69.5	77.2	81.5	137.0	4.2	59.8	55.5
	慢性期	57.1	62.0	68.9	126.8	6.9	64.7	57.8
	小計	284.1	343.0	355.2	513.0	12.2	170.0	157.8
	在宅医療等	(561.5)	(561.5)	(612.3)	(649.8)	(50.8)	(88.3)	(37.5)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(147.1)	(147.1)	(163.4)	(189.5)	(16.4)	(42.5)	(26.1)
0306:釜石	高度急性期	24.9	33.2	31.4	44.3	-1.7	11.1	12.8
	急性期	102.3	131.1	130.4	149.6	-0.7	18.5	19.2
	回復期	142.2	158.0	166.3	199.0	8.3	41.0	32.7
	慢性期	217.9	236.8	223.0	150.2	-13.8	-86.6	-72.8
	小計	487.2	559.1	551.2	543.1	-7.9	-16.1	-8.1
	在宅医療等	(702.9)	(702.9)	(693.1)	(716.7)	(693.1)	(716.7)	(23.6)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(354.9)	(354.9)	(358.8)	(380.9)	(358.8)	(380.9)	(22.1)
0307:宮古	高度急性期	30.7	41.0	39.1	69.0	-1.9	28.0	29.9
	急性期	108.3	138.9	137.5	203.4	-1.3	64.5	65.8
	回復期	163.5	181.6	189.6	250.1	8.0	68.5	60.5
	慢性期	75.8	82.4	93.7	155.3	11.3	72.9	61.5
	小計	378.3	443.9	460.0	677.7	16.1	233.9	217.7
	在宅医療等	(714.2)	(714.2)	(749.2)	(797.6)	(35.0)	(83.4)	(48.4)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(206.7)	(206.7)	(222.3)	(247.8)	(15.6)	(41.1)	(25.5)
0308:久慈	高度急性期	32.9	43.9	43.3	53.1	-0.7	9.1	9.8
	急性期	107.6	138.0	141.5	165.5	3.5	27.5	24.0
	回復期	111.5	123.9	132.2	157.7	8.2	33.8	25.6
	慢性期	37.7	41.0	41.6	65.9	0.6	24.9	24.3
	小計	289.8	346.8	358.5	442.2	11.7	95.4	83.6
	在宅医療等	(426.2)	(426.2)	(488.3)	(499.2)	(62.1)	(73.0)	(10.9)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(78.9)	(78.9)	(83.5)	(86.3)	(4.7)	(7.5)	(2.8)
0309:二戸	高度急性期	24.7	33.0	31.2	41.4	-1.8	8.4	10.2
	急性期	108.2	138.8	133.6	155.9	-5.2	17.2	22.4
	回復期	82.2	91.4	90.0	151.8	-1.4	60.4	61.8
	慢性期	37.1	40.3	33.0	101.0	-7.4	60.7	68.0
	小計	252.3	303.5	287.7	450.1	-15.7	146.7	162.4
	在宅医療等	(462.0)	(462.0)	(464.5)	(559.9)	(2.5)	(97.9)	(95.4)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(63.6)	(63.6)	(62.3)	(96.6)	-(1.3)	(33.0)	(34.3)
総計		8,941.8	10,477.7	10,548.3	10,572.3	70.6	94.6	24.0
岩手県全域	高度急性期	778.5	1,038.0	1,031.5	1,042.1	-6.4	4.1	10.6
	急性期	2,526.0	3,238.5	3,332.3	3,353.0	93.8	114.5	20.7
	回復期	3,053.8	3,393.2	3,695.6	3,708.9	302.5	315.8	13.3
	慢性期	2,583.4	2,808.0	2,488.9	2,468.3	-319.1	-339.8	-20.6
	県計	8,941.8	10,477.7	10,548.3	10,572.3	70.6	94.6	24.0
	在宅医療等	(11,203.8)	(11,203.8)	(14,508.3)	(14,602.4)	(3,304.5)	(3,398.6)	(94.1)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(3,701.2)	(3,701.2)	(4,857.7)	(4,948.2)	(1,156.5)	(1,247.0)	(90.5)

※ 2013年の慢性期の医療需要は、在宅への移行分は控除し、地域差解消分は控除していない数値である。

※ 在宅医療等は病床数ではなく、医療需要（推計患者数）の数値であり、病床数の県計には含んでいない。

必要病床数推計ツールによる**必要病床数**の機械的推計（2025年・パターンB=慢性期の上限）

2013年に 何人の患者が いたか。	2013の 患者数を 病床数に換算	Bに人口の変化を 折り込んで推計	Cを患者 住所地に再配分
ア	イ	ウ	エ

医療機関所在地	医療機能	2013年の医療 需要 (医療機関ベ ース) 人/日	2013年の 必要病床数 (医療機関ベ ース)	2025年の 必要病床数 (医療機関ベ ース)	2025年の 必要病床数 (患者住所地 ベース)	ウ-イ	エ-イ	エ-ウ
						2013→2025 必要病床数(医 療機関ベー スの比較増減	2013→2025 必要病床数(患 者住所地ベ ース)の比較増減	2025必要病床 数 (医療機関ベ ースと患者住所 地の差)
0301:盛岡	高度急性期	406.2	541.7	547.0	401.4	5.3	-140.2	-145.6
	急性期	1,140.0	1,461.5	1,558.1	1,265.2	96.6	-196.3	-293.0
	回復期	1,488.2	1,653.6	1,875.1	1,489.4	221.5	-164.2	-385.7
	慢性期	1,191.8	1,295.4	1,223.6	1,051.9	-71.8	-243.5	-171.7
	小計	4,226.2	4,952.1	5,203.8	4,207.9	251.7	-744.2	-995.9
	在宅医療等	(4,187.9)	(4,187.9)	(5,826.7)	(5,591.4)	(1,638.8)	(1,403.5)	-(235.3)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(1,682.6)	(1,682.6)	(2,237.6)	(2,160.2)	(554.9)	(477.6)	-(77.3)
0302:岩手中部	高度急性期	102.2	136.3	134.8	171.6	-1.4	35.3	36.7
	急性期	340.2	436.2	440.1	513.5	4.0	77.4	73.4
	回復期	469.1	521.2	557.3	653.5	36.0	132.2	96.2
	慢性期	231.0	251.1	248.3	339.5	-2.8	88.4	91.2
	小計	1,142.5	1,344.7	1,380.5	1,678.1	35.7	333.4	297.6
	在宅医療等	(1,978.4)	(1,978.4)	(2,231.9)	(2,259.9)	(253.5)	(281.4)	(28.0)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(705.7)	(705.7)	(799.5)	(807.5)	(93.8)	(101.8)	(8.0)
0303:胆江	高度急性期	62.6	83.5	84.1	101.9	0.6	18.4	17.8
	急性期	272.6	349.4	352.0	375.1	2.6	25.6	23.0
	回復期	268.2	298.0	312.1	339.7	14.1	41.6	27.5
	慢性期	488.8	531.3	445.3	342.5	-86.1	-188.9	-102.8
	小計	1,092.3	1,262.3	1,193.6	1,159.1	-68.8	-103.3	-34.5
	在宅医療等	(1,110.5)	(1,110.5)	(1,318.6)	(1,327.0)	(208.1)	(216.5)	(8.4)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(264.1)	(264.1)	(290.0)	(295.5)	(25.8)	(31.4)	(5.6)
0304:両磐	高度急性期	59.9	79.9	76.4	103.1	-3.4	23.3	26.7
	急性期	223.5	286.6	278.5	332.0	-8.1	45.4	53.5
	回復期	259.3	288.2	291.5	330.7	3.4	42.6	39.2
	慢性期	246.2	267.6	236.9	257.6	-30.7	-10.0	20.6
	小計	789.0	922.2	883.4	1,023.5	-38.8	101.3	140.1
	在宅医療等	(1,060.2)	(1,060.2)	(1,085.2)	(1,137.8)	(25.1)	(77.6)	(52.6)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(197.5)	(197.5)	(202.2)	(236.6)	(4.7)	(39.1)	(34.4)
0305:気仙	高度急性期	34.2	45.7	44.2	56.4	-1.4	10.7	12.1
	急性期	123.3	158.1	160.5	192.8	2.4	34.7	32.3
	回復期	69.5	77.2	81.5	137.0	4.2	59.8	55.5
	慢性期	57.1	62.0	69.0	126.9	7.0	64.9	57.9
	小計	284.1	343.0	355.2	513.1	12.2	170.1	157.9
	在宅医療等	(561.5)	(561.5)	(651.5)	(693.0)	(90.0)	(131.5)	(41.5)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(147.1)	(147.1)	(172.0)	(199.7)	(24.9)	(52.6)	(27.7)
0306:釜石	高度急性期	24.9	33.2	31.4	44.3	-1.7	11.1	12.8
	急性期	102.3	131.1	130.4	149.6	-0.7	18.5	19.2
	回復期	142.2	158.0	166.3	199.0	8.3	41.0	32.7
	慢性期	217.9	236.8	223.1	150.2	-13.8	-86.6	-72.9
	小計	487.2	559.1	551.2	543.1	-7.9	-16.1	-8.2
	在宅医療等	(702.9)	(702.9)	(791.6)	(820.1)	(88.7)	(117.2)	(28.5)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(354.9)	(354.9)	(405.8)	(430.5)	(50.8)	(75.5)	(24.7)
0307:宮古	高度急性期	30.7	41.0	39.1	69.0	-1.9	28.0	29.9
	急性期	108.3	138.9	137.5	203.4	-1.3	64.5	65.8
	回復期	163.5	181.6	189.6	250.1	8.0	68.5	60.5
	慢性期	75.8	82.4	93.7	155.3	11.3	72.9	61.5
	小計	378.3	443.9	460.0	677.7	16.1	233.9	217.7
	在宅医療等	(714.2)	(714.2)	(816.6)	(873.5)	(102.4)	(159.2)	(56.8)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(206.7)	(206.7)	(238.3)	(266.7)	(31.6)	(60.0)	(28.3)
0308:久慈	高度急性期	32.9	43.9	43.3	53.1	-0.7	9.1	9.8
	急性期	107.6	138.0	141.5	165.5	3.5	27.5	24.0
	回復期	111.5	123.9	132.2	157.7	8.2	33.8	25.6
	慢性期	37.7	41.0	41.8	65.9	0.8	24.9	24.1
	小計	289.8	346.8	358.7	442.2	11.9	95.4	83.5
	在宅医療等	(426.2)	(426.2)	(472.1)	(484.1)	(46.0)	(58.0)	(12.0)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(78.9)	(78.9)	(83.4)	(85.3)	(4.5)	(6.5)	(1.9)
0309:二戸	高度急性期	24.7	33.0	31.2	41.4	-1.8	8.4	10.2
	急性期	108.2	138.8	133.6	155.9	-5.2	17.2	22.4
	回復期	82.2	91.4	90.0	151.8	-1.4	60.4	61.8
	慢性期	37.1	40.3	34.5	105.8	-5.8	65.5	71.3
	小計	252.3	303.5	289.3	455.0	-14.2	151.5	165.7
	在宅医療等	(462.0)	(462.0)	(486.4)	(593.6)	(24.4)	(131.6)	(107.2)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(63.6)	(63.6)	(65.9)	(103.2)	(2.3)	(39.6)	(37.3)
総計	8,941.8	10,477.7	10,675.7	10,699.5	198.1	221.8	23.8	
岩手県全域	高度急性期	778.5	1,038.0	1,031.5	1,042.1	-6.4	4.1	10.6
	急性期	2,526.0	3,238.5	3,332.3	3,353.0	93.8	114.5	20.7
	回復期	3,053.8	3,393.2	3,695.6	3,708.9	302.5	315.8	13.3
	慢性期	2,583.4	2,808.0	2,616.3	2,595.5	-191.7	-212.5	-20.8
	県計	8,941.8	10,477.7	10,675.7	10,699.5	198.1	221.8	23.8
	在宅医療等	(11,203.8)	(11,203.8)	(13,680.7)	(13,780.3)	(2,477.0)	(2,576.6)	(99.6)
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	(3,701.2)	(3,701.2)	(4,494.7)	(4,585.2)	(793.5)	(884.0)	(90.5)

※ 2013年の慢性期の医療需要は、在宅への移行分は控除し、地域差解消分は控除していない数値である。

※ 在宅医療等は病床数ではなく、医療需要（推計患者数）の数値であり、病床数の県計には含んでいない。



慢性期の**必要病床数**の推計 AパターンとBパターンの比較

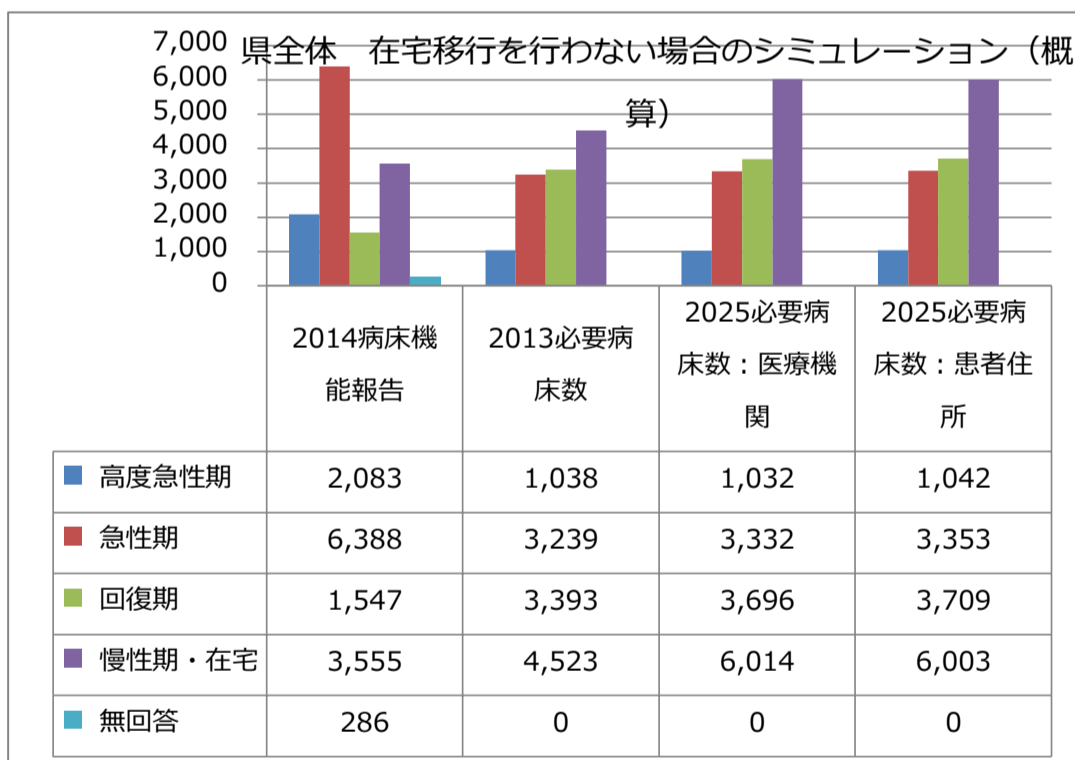
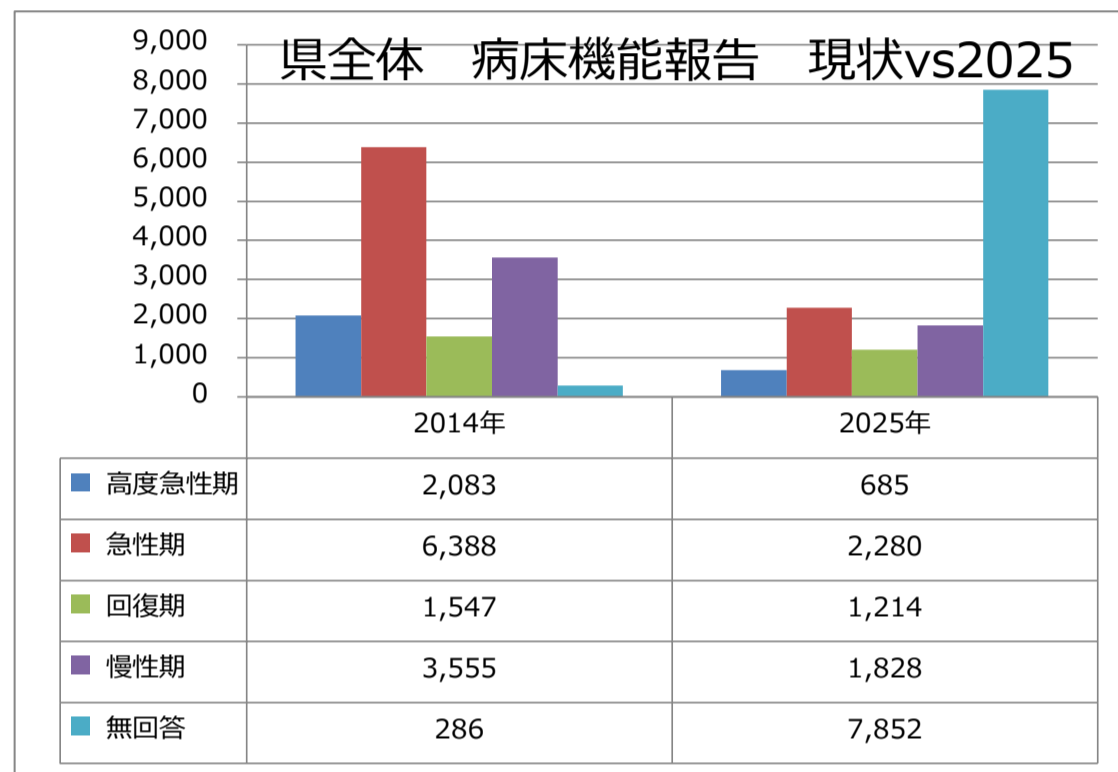
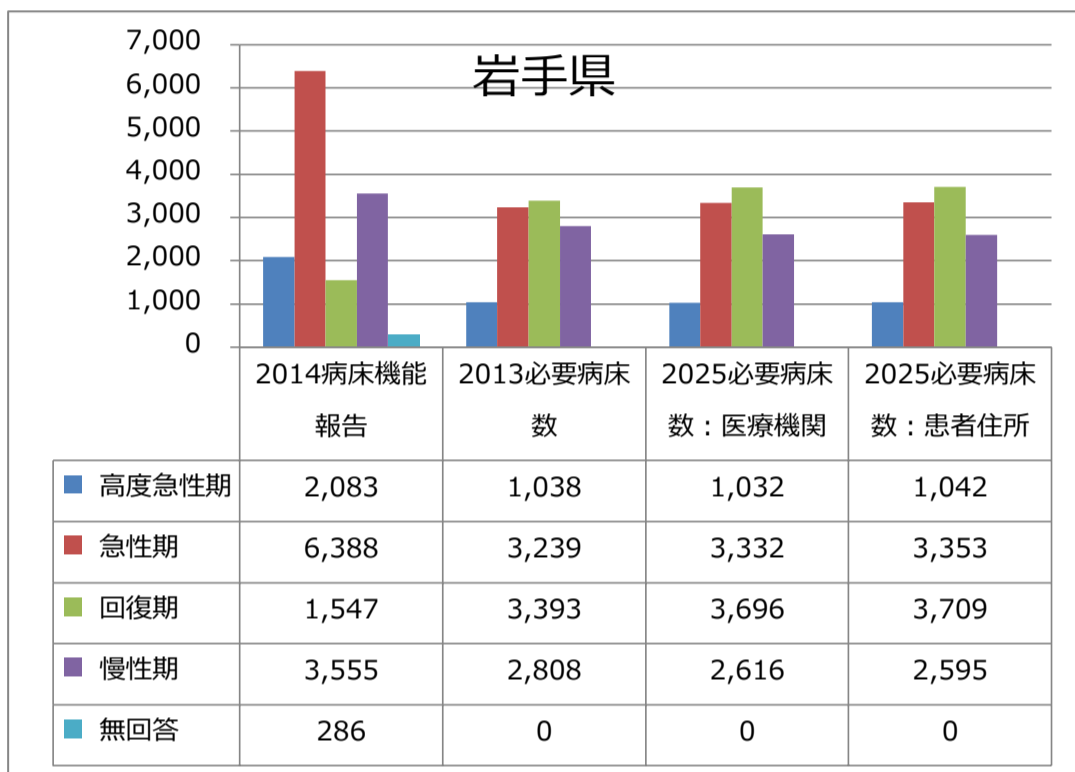
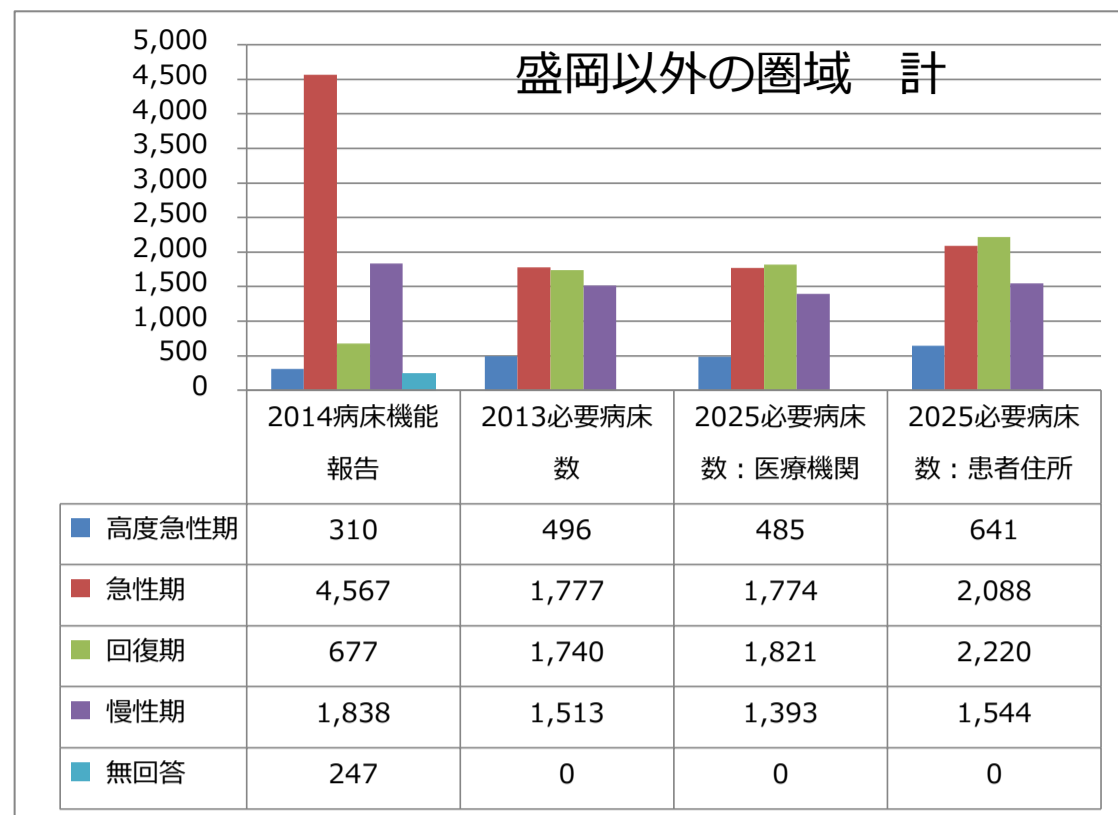
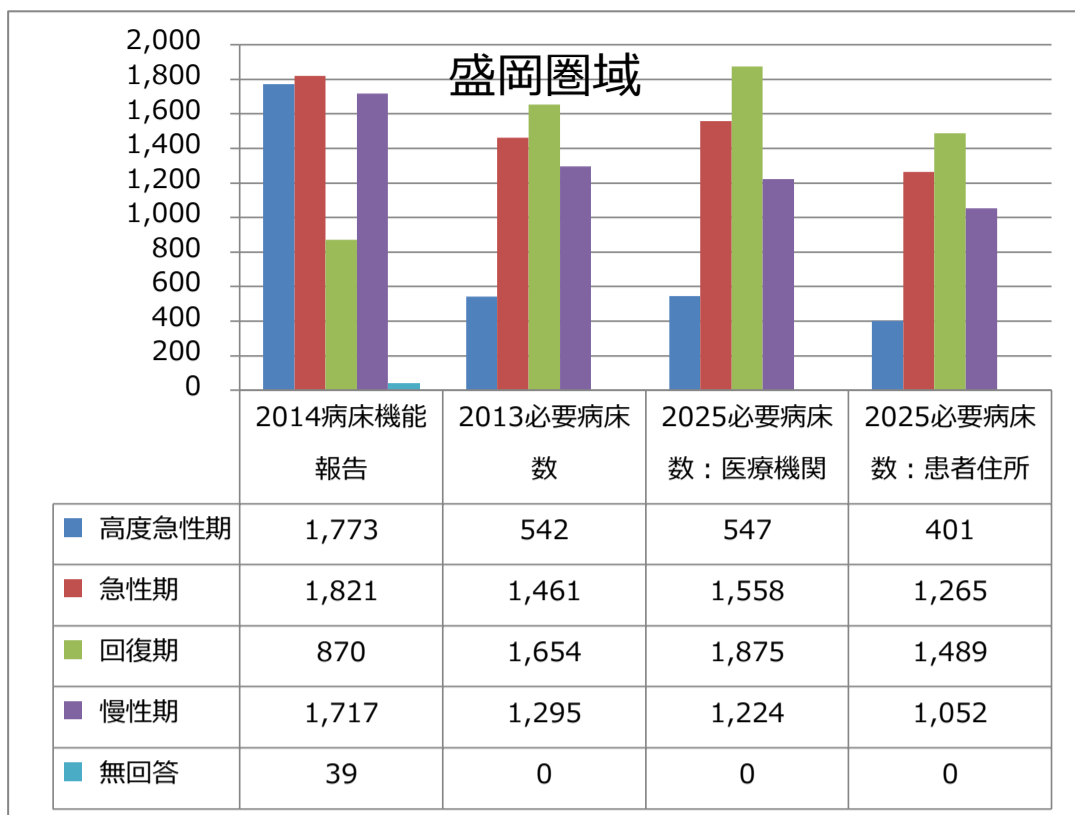
## (1) 医療機関ベース

二次医療圏	2025年度の必要病床数（現行の流出入） （床） ※医療機関別		
	慢性期A	慢性期B	比較 B - A
0301:盛岡	1,131.1	1,223.6	92.5
0302:岩手中部	246.6	248.3	1.7
0303:胆江	414.2	445.3	31.0
0304:両磐	236.7	236.9	0.3
0305:気仙	68.9	69.0	0.1
0306:釜石	223.0	223.1	0.0
0307:宮古	93.7	93.7	0.0
0308:久慈	41.6	41.8	0.2
0309:二戸	33.0	34.5	1.6
岩手県全域	2,488.9	2,616.3	127.4

## (2) 患者住所地ベース

二次医療圏	2025年度の必要病床数（調整後の流出入） （床） ※患者住所地別		
	慢性期A	慢性期B	比較 B - A
0301:盛岡	961.0	1,051.9	91.0
0302:岩手中部	339.5	339.5	0.0
0303:胆江	311.2	342.5	31.3
0304:両磐	257.6	257.6	0.0
0305:気仙	126.8	126.9	0.1
0306:釜石	150.2	150.2	0.0
0307:宮古	155.3	155.3	0.0
0308:久慈	65.9	65.9	0.0
0309:二戸	101.0	105.8	4.8
岩手県全域	2,468.3	2,595.5	127.2

病床機能報告の結果と必要病床数推計値（2025年・Bパターン）との比較 その1 県の概況

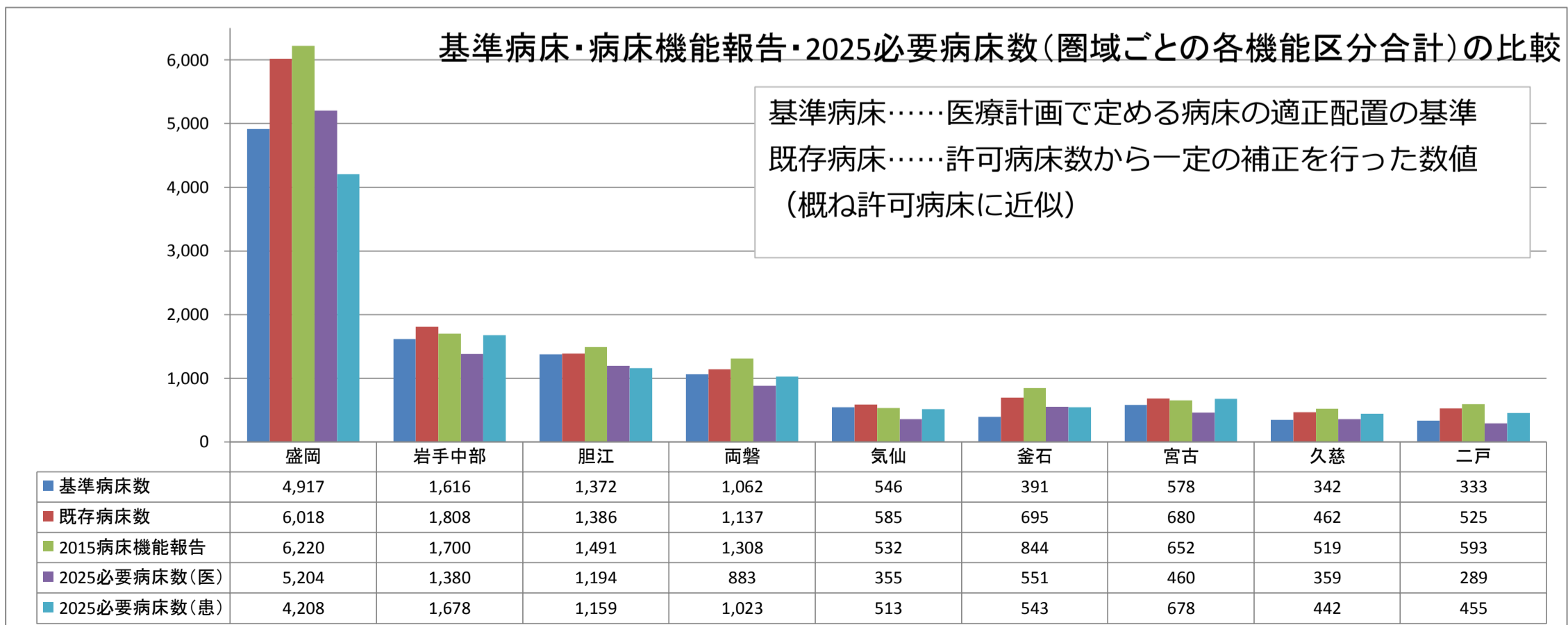


**←シミュレーションの考え方**

- ※ 病床機能報告の数値は、報告値のままである。
- ※ 「慢性期・在宅」欄の必要病床数については、ツールの推計値を元に、以下のとおり試算した値である。

- ① 慢性期需要の推計値と在宅等の推計値を合計
- ② ①から訪問診療基本料算定分を控除
- ③ ②から県の介護老人保健施設定員5788名を控除

**参考値であり、厳密な試算ではないことに留意が必要。**



※ 病床機能報告については、未報告やエラーを含まない数値である。

病床機能報告の結果と必要病床数推計値（2025年・Bパターン）との比較 その2 圏域ごとの概況

